

4th IRTG Joint Symposium への参加

所属：工学研究科 有機・高分子化学専攻 有機合成・触媒研究室

学年：修士2年

氏名：木倉 健翔

出張先：ミュンスター大学・ドイツ

出張期間：2023年5月12日～2023年5月19日

出張目的：名大・ミュンスター大学による国際ジョイントシンポジウムへの参加

・概要

ドイツのミュンスター大学で開催された IRTG Joint Symposium へ参加し、教授陣らによる講演を公聴、ポスター発表、現地 PI とのディスカッション、現地学生との交流を行った。

・所感

ポスター発表に関して

国内においては幾度かポスター発表を行ってきたが、海外で、また英語で発表するのは初めてでかなり緊張した。現地の学生、教授陣からの質問に詰まりながらもなんとか答えることで、アドバイス等もらった。今後の研究の糧になる体験であった。



ミュンスター大学内にある建物

現地学生との交流に関して

現地学生の案内でミュンスター市内の動物園や市場、教会などを回った。建物や食事、乗り物など日本とは異なる文化を肌で感じた。特に太陽が出ている日中の時間が長く、夜の10時頃まで明るいことに驚いた。また、公園や湖のほとりなどで何をすることもなく友人たちとしゃべって時を過ごしている人たちが多く、忙しく動

く人が多い日本ではあまり見られない光景だった。

また、博士学生についてドイツでは給与があり研究者としての地位が確約されている。日本では近年サポートは増えてきたが、すべての学生に対しては行われておらず、博士学生の地位について日本とドイツでギャップがあると感じた。

・謝辞

本プログラムのコーディネーターである山口茂弘教授、渡航のマネジメントをしていただき現地でもお世話になりました物質科学国際研究センターの木原さん、ミュンスター市内の案内をしてドイツの文化について教えてくださったミュンスター大学の皆様、ご支援いただいた GTR 学生支援室の皆様に感謝申し上げます。



Joint Symposium へ参加した学生